

青木村為教授二十初及其家釀銘  
三心杉中在須崎明信時從德唐缺眼梳  
山田屋以充書古多附近有可免也此也

拿山寄此大鵬想為平極矣詩中云云

之杉銘酒可舒痛委常歷恒學現親梳  
梳泉此空小暢可免也此月如能身用可好  
甲縹懷開字充跡之也祝聖新於之也山名生  
一可妻憾里名危故之也名之也

渡川原



木村教授の還暦を迎えて、先生の学問と人格を敬愛するわれわれの心からなる祝意をこめて、この論文集を献げる。

立命館経済学会会員一同